



指導班だより

学力向上に向けて ～ Let's try! ～

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果から、大河原教育事務所管内と全国の正答率の
かい離が大きかった各教科の設問について、指導班で分析しました。今回は中学校国語の問題
を見ていきます。小学校でも参考にいただければと思います。

中学校 国語A 8六-2 「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと」
(大河原管内正答率49.6% / 全国正答率63.0%)

六次は、中国の「韓非子」という本にある話〔A〕と、その現代語訳〔B〕です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

〔A〕
〔竹内照夫「新釈漢文大系 第12巻 韓非子(下)」による。〕

〔B〕
〔竹内照夫「新釈漢文大系 第12巻 韓非子(下)」による。〕

楚の国の人で、盾と矛を売る者がいた。その盾をほめて言うには、「わたしの盾の堅いこといったら、突き通せるものはない。」と。また、その矛をほめて言うには、「わたしの矛の鋭いこといったら、どんなものでも突き通さないことはない。」と。ある人が言うには、「あなたの矛で、あなたの盾を突き通したらどうなるか。」と。その人は答えることができなかった。

1 線部「いはく」の意味を〔B〕の中から抜き出さない。

2 線部「とおさざるなし」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

中国A-27

●管内の半数もの生徒が、正解できなかったのはなぜでしょうか。

●生徒たちが、このような間違いをしないようにするためには、どのような授業をすればよいでしょうか。

- 全国の解答類型
- 1 「とおさざるなし」と解答 (63.4%)
 - 2 「とおさざるなし」の意味を解答 (13.1%)
 - 3 上記以外 (16.2%)
 - 4 無解答 (7.2%)

○考察

「現代仮名遣い」と「現代語訳」を混同している生徒が多いと考えられます。

過去にも同様の問題が出されました。授業改善のヒントが見えてくるかもしれません。(※裏面参照)

